

令和6年度教育課程研究集会
中学校 保健体育

保健体育科の指導における 「主体的・対話的で深い学び」の実現に 向けた授業改善について

令和6年8月
奈良県教育委員会事務局
体育健康課 学校体育係

①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実について

②学習指導要領及び学習指導要領解説について

思考力、判断力、表現力等の系統性(指導内容の明確化)

	中学校1年・2年	中学校3年・高校入学年次	高校その次の年次以降
学習指導要領	自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えること	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えること	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること
体の動かし方や行い方	・課題や出来映えを伝える	・合理的な動きと比較して成果や改善すべきポイントと理由を伝える	・動きを分析して良い点や修正点を指摘する
	・自己の課題に応じて練習方法を選ぶ	・自己や仲間の課題や練習方法について伝える	・課題解決のための練習の計画を立てる
			・課題解決の過程を踏まえて新たな課題を発見する
体力や健康・安全	・安全上の留意点を他の学習場面に当てはめ、伝える	・体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返る	・危険を回避するための活動の仕方を提案する
		・運動に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選ぶ	
運動実践につながる態度	・最善を尽くす（伝統的な所作）などのよい取組を見付け、伝える	・よりよいマナーや行為（所作）について自己の活動を振り返る	・よりよいルールやマナー（所作）について提案する
	・分担した役割に応じた活動の仕方を見付ける	・分担した役割の成果などについて自己の活動を振り返る	・状況に応じて役割を提案する
	・提示された仕方に当てはめ、関わり方を見付ける	・合意形成するための関わり方を見付け、伝える	・合意を形成するための調整の仕方を見付ける
	・違いを踏まえて楽しむ方法を見付け、伝える	・違いに配慮して楽しむ活動の方法や修正の仕方を見付ける	・違いを超えて楽しむための調整の仕方を見付ける
生涯スポーツの設計		・運動を継続して楽しむための関わり方を見付ける	・生涯にわたって楽しむための関わり方を見付ける

学びに向かう力、人間性等の系統性(指導内容の明確化)

指導事項	中学校1年・2年	中学校3年・高校入学年次	高校その次の年次以降
ア 愛好的態度	積極的に取り組もうとする	自主的に取り組もうとする	主体的に取り組もうとする
イ 公正	勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする	勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする	
	フェアなプレイを守ろうとする	フェアなプレイを大切にしようとする	
	相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとする	相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする	
ウ 協力・責任	よい演技を認めようとする	よい演技を讃えようとする	
	仲間の学習を援助しようとする	互いに助け合い教え合おうとする	互いに助け合い高め合おうとする
	分担した役割を果たそうとする	自己の責任を果たそうとする	役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする
エ 参画・共生	話合いに参加しようとする	話合いに貢献しようとする	合意形成に貢献しようとする
	一人一人の違いを認めようとする	一人一人の違いを大切にしようとする	
オ 健康・安全	健康・安全に気を配る	健康・安全を確保する	

単元のデザインについて

思、判、表等

領域		球技		
学年・年次		中 1 ・ 2	中 3 高 1	高 2 ・ 3
体の動かし方や運動の行い方		○	○	○
体力や健康・安全	体力		○	○
	健康・安全	○	○	○
運動実践につながる態度	公正・伝統的	○	○	○
	協力・責任	○	○	○
	参画	○	○	○
	共生	○	○	○
生涯スポーツの設計（中3以降）			○	○

3限

学びに～人間性等

	球技
愛好的態度	○
公正 伝統的	○
協力	○
責任	▲
参画	○
共生	○
健康・安全	○

7限

(例)

・3時間目に運動実践につながる態度(共生)に関する思考力、判断力、表現力等の学習内容を設定、評価



・その上で、7時間目に、学びに向かう力、人間性等(共生)に関する学習内容を設定、評価

より効果的に資質・能力の育成が図られることをねらい、同じ内容(例では共生)を意図的に学習内容に組み込むことも考えられる。

留意点

・学習内容(指導事項)に漏れがないか、バランス等は適切かを確認するためには、「年間指導計画の作成」と「指導事項の配置検討」が重要。(次スライド参照)

①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の
一体的な充実について

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実(イメージ)

主体的な学び

学ぶことに興味や関心をもち、キャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

深い学び

習得・活用・探究という学びの課程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

【主体的・対話的で深い学び】

授業改善



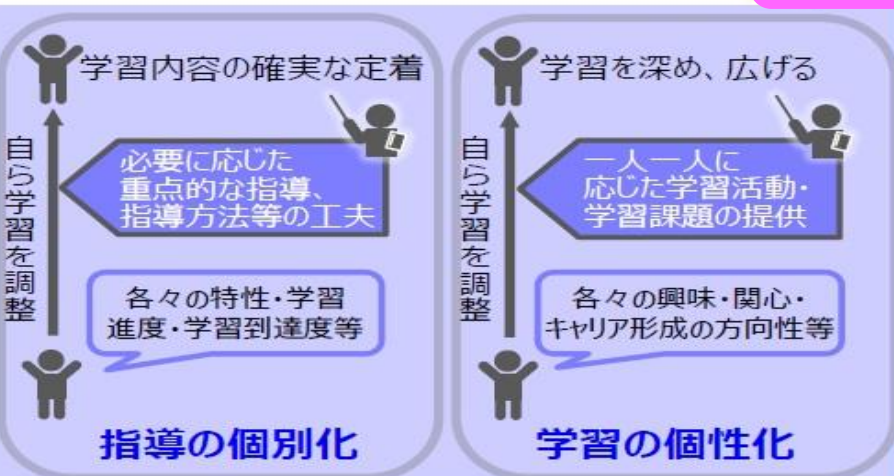
学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の支援

一体的に
充実

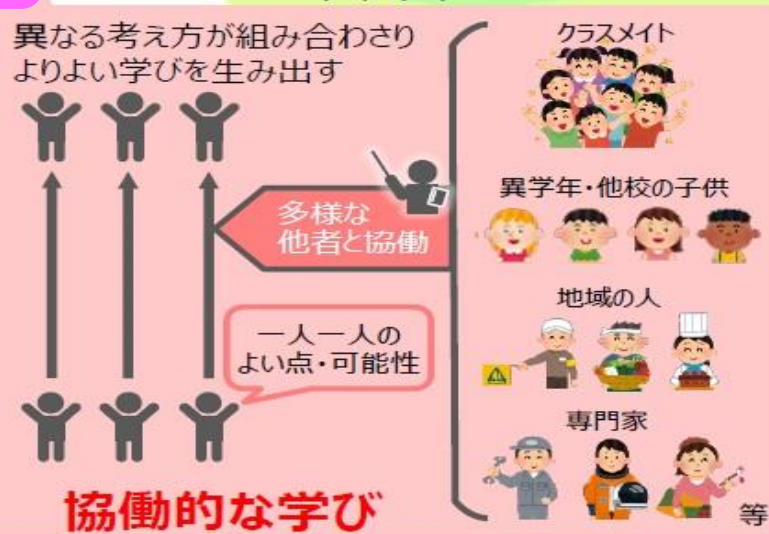
授業外の
学習の改善

拡大



個別最適な学び (教師視点では「個に応じた指導」)

修得主義 一人一人の学習状況に応じて学習内容を提供 一定の期間における一人一人の学習の状況・成果を重視の考え方を生かす



協働的な学び

履修主義 一人一人の多様な成長を包含の考え方を生かす

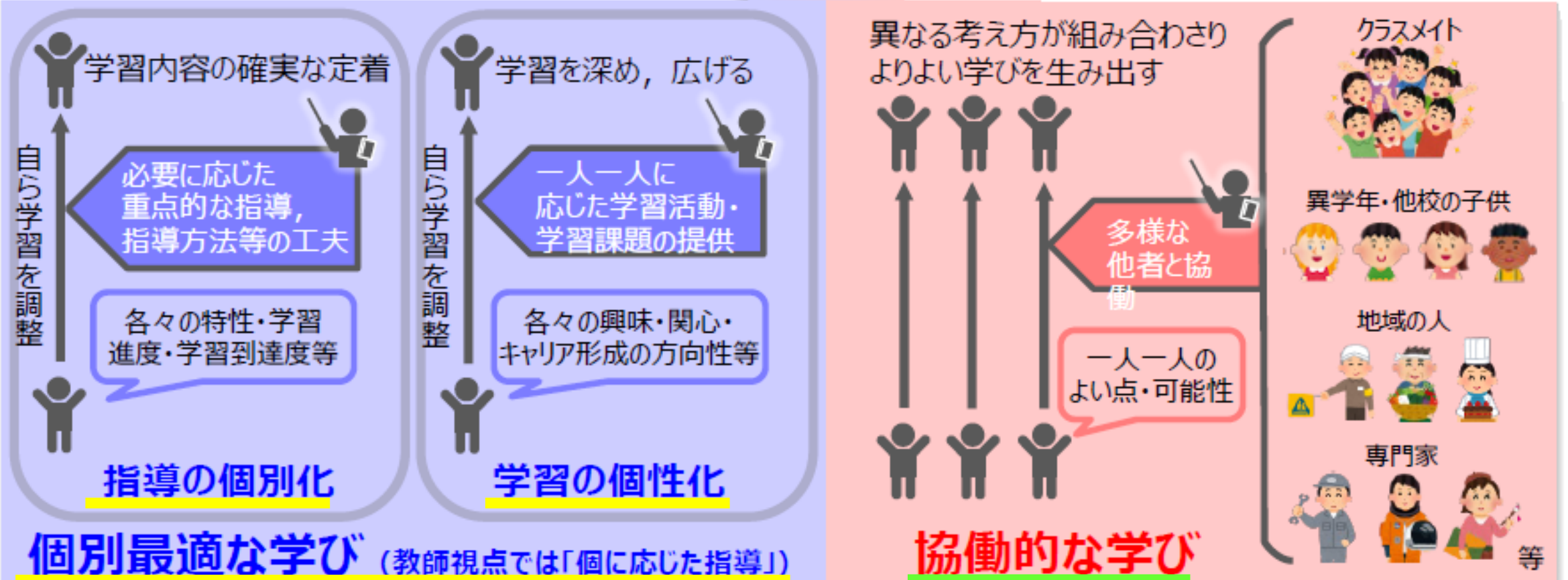
これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

平成29,30年改訂
学習指導要領 前文

学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達への支援

一体的に
充実

授業外の
学習の改善



修得主義

・個々人の学習状況に応じて学習内容を提供
 ・一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視

履修主義

・集団に対して共通に教育を行う
 ・一定の期間の中で個々人の多様な成長を包含

のちん力を生かす

のちん力を生かす

2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型教育」の姿

指導の個別化

一定の目標を全ての子供が達成することを目指し、異なる方法等で学習を進める。

- 子供一人一人の**特性・学習進度・学習到達度**に応じ、
- 教師は**必要に応じた重点的な指導や指導方法・教材等の柔軟な提供・設定**を行う。

▶生徒自ら自己調整しながら粘り強く学習に取り組む態度を育成する。

学習の個性化

興味・関心等に応じた異なる目標に向けて、学習を深め、広げる。

- 子供一人一人の**興味・関心・キャリア形成の方向性等**に応じ、
- 教師は**一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供**を行う。

▶生徒自身が学習が最適となるよう調整する。
→適切でなければ、修正に向けた助言等。

①個別最適な学び（「個に応じた指導」(**指導の個別化**と**学習の個性化**)を学習者の視点から整理した概念

成果を
生かす



それぞれの学びを一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる



成果を
還元

②協働的な学び（「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう、「協働的な学び」を充実）

【集団の中で個が埋没してしまうことがないように】

- 子供一人一人よい点や可能性を生かし
- 子供同士、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働する

▶異なる考えが組み合わさり、よりより学びを生み出す

2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型教育」の姿

指導の個別化

一定の目標を全ての子供が達成することを目指し、異なる方法等で学習を進める。

- 子供一人一人の**特性・学習進度・学習到達度**に応じ、
- 教師は**必要に応じた重点的な指導や指導方法・教材等の柔軟な提供・設定**を行う。

▶生徒自ら自己調整しながら粘る強く学習に取り組む態度を育成する。

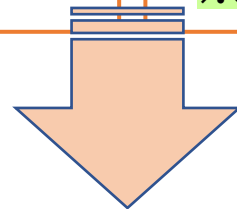
学習の個性化

興味・関心等に応じた異なる目標に向けて、学習を深め、広げる。

- 子供一人一人の**興味・関心・キャリア形成の方向性等**に応じ、
- 教師は**一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供**を行う。

▶生徒自身が学習が最適となるよう調整する。

※適切でなければ、修正に向けた助言等。



学習者を育てるという視点
(教員は伴走者)

体育分野における個別最適な学びと協働的な学び

【事例】

中学校第2学年：器械運動(マット運動)接点技群

<課題学習>

課題A) 体をマットに徐々に接触させて回転する

課題B) 回転を高めて回転する

課題C) 条件を変えて回転する

課題Aに取り組むグループの例

○さん・・・順次接触(接地)の初歩でつまづいている

△さん・・・基礎は問題なく、動きを磨いていきたい

同じ課題Aに取り組んでも
子供の状況は様々

ICTを活用して
お互いに指摘し合う

体育分野における個別最適な学びと協働的な学び

【事例】

中学校第2学年：器械運動(マット運動)接点技群
課題学習

課題A)体をマットに徐々に接触させて回転する

課題B)回転を高めて回転する

課題C)条件を変えて回転する

「〇〇さんはここが課題だから〇〇に取り組もう」×

※ただし、明らかに誤った認識で課題を選択している場合は、声かけも必要！

優越感・劣等感を意識させない工夫も。

「お互いに高め合う」という視点

①個別の課題把握

自分で課題を選ぶことができるように配慮することも重要

⇒生徒自身が学習が最適となるよう調整する

⇒生徒が自己調整しながら学習を進めていくことができるよう指導することが重要。

(令和3年中教審答申)

②協働的な学びとの一体化

同じ課題の解決に向けた協働的な学びの場を考える

⇒異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出す

(令和3年中教審答申)

③ICTの効果的な活用

自由な発想で活用できるような環境を整え、授業をデザインする

⇒①、②それぞれの場面における効果的な活用方法を考える

保健分野における個別最適な学びと協働的な学び(「感染症の予防」の例)

学習内容:感染症について理解し、予防するにはどうしたらよいか考えよう!!

指導の個別化

一定の目標を全ての子供が達成することを目指し、異なる方法等で学習を進める。

- 感染症の種類を教科書で調べてみよう。
- 感染症の情報が出ているURLを紹介する。
- 予防する方法をオンラインで学校医に聞いてみよう。

学習の個性化

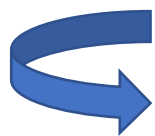
興味・関心等に応じた異なる目標に向けて、学習を深め、広げる。

- 感染経路を遮断する方法を調べてみる。
- 予防接種により免疫を付けることの効果調べてみる。
- 早く回復するためにはどうしたらよいか調べてみる。

⇒児童生徒が自己調整しながら学習を進めていくことができるように指導する

①個別最適な学び ・「個に応じた指導」:「指導の個別化」と「学習の個性化」を教師視点から整理した概念
・「個別最適な学び」:「個に応じた指導」を学習者視点から整理した概念

成果を生かす



それぞれの学びを一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる



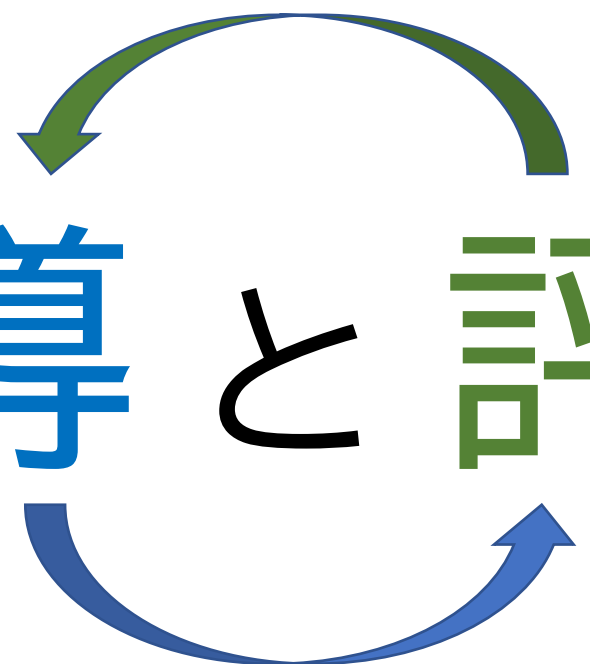
成果を還元

②協働的な学び (「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう、「協働的な学び」を充実)

▶異なる考えが組み合わさり、よりよい学びを生み出す

- 個人の考えをブレインストーミングで出し合い、分類する、
- 感染症の感染が拡大している事例を示し、どんな課題があるかグループで話し合う。
- 感染症を予防するための三原則(感染源、感染経路、抵抗力)について、それぞれの視点で対策を話し合う。
- グループで各自が考えた対策を共有し、それらを合わせてよりよい対策を考える。

②学習指導要領及び学習指導 要領解説について



指導 と 評価

指導内容の
理解と指導の
工夫が重要

の一体化

「学びに向かう力、人間性等」の指導内容

▷各教科等の内容については、内容のまとまりごとに、生徒が身に付けることが期待される資質・能力の三つの柱に沿って示すこととしているが、特に「学びに向かう力、人間性等」については、目標において全体として示し、内容のまとまりごとに指導内容を示さないことを基本としている。**しかし、**体育分野においては、豊かなスポーツライフを実現することを重視し、従前より「態度」を内容として示していることから、内容のまとまりごとに「学びに向かう力、人間性等」に対応した指導内容を示すこととした。

中学校学習指導要領解説 保健体育編 P13-14
※小学校、高等学校に同旨あり

▷学びに向かう力、人間性等については、各領域において愛好的態度及び健康・安全は共通事項とし、公正、協力、責任、参画、共生の中から、各領域で取り上げることが効果的な指導内容を**重点化して示している**。

中学校学習指導要領解説 保健体育編 P41
※高等学校に同旨あり

【参考資料】指導内容の重点化(学びに向かう力、人間性等)

	体づくり 運動	器械 運動	陸上 競技	水泳	球技	武道	ダンス
愛好的 態度	○	○	○	○	○	○	○
公正 伝統的			○	○	○	○	
協力	○	○	▲	▲	○	▲	○
責任	▲	▲	○	○	▲	○	▲
参画	○				○		○
共生	○	○	○	○	○	○	○
健康・ 安全	○	○	○	○	○	○	○

各領域で効果的に育むことができる内容を「例示」で示した。

協力の場面や行動の仕方の例などの**具体的な知識**と、なぜ協力するのかといった協力することの**意義などの汎用的な知識**を関連させて指導することで、生徒自身の**積極性や自主性を**促し、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現していく**資質・能力の育成を図ることが大切である。**

「学びに向かう力、人間性等」の指導内容

陸上競技 第1学年及び第2学年の「学びに向かう力、人間性等」の記述

陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする事などや、健康・安全に気を配ること。

解説の記述 P90-91

具体的な知識

(いつ、何を、どのように取り組むか)

分担した役割を果たそうとすることとは、練習や競争を行う際に、用具の準備や後片付け、測定結果の記録などの分担した役割に積極的に取り組もうとすることなどを示している。

そのため、分担した役割を果たすことは、活動時間の確保につながることやグループの人間関係がよくなることにつながることを理解し、取り組めるようにする。

汎用的な知識

(何のためにするのか、やるとどうなるのか)

(1)健康な生活と疾病の予防 [第3学年]

(オ)感染症の予防

①エイズ及び性感染症の予防

エイズ及び性感染症の増加傾向と青少年の感染が社会問題になっていることから、それらの疾病概念や感染経路について理解できるようにする。また、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることを理解できるようにする。例えば、エイズの病原体はヒト免疫不全ウイルス(HIV)であり、その主な感染経路は性的接触であることから、感染を予防するには性的接触をしないこと、コンドームを使うことなどが有効であることにも触れるようにする。

なお、指導にあたっては、発達の段階を踏まえること、学校全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切である。

★その他 (2)心身の機能の発達と心の健康(イ)生殖に関わる機能の成熟(解説 P216～P217)

〈例示〉解説P219

・心身の機能の発達と心の健康における事柄や情報などについて、保健に関わる原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見すること。

課題発見

・心身の機能の発達について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、発達の状況に応じた健康を保持増進する方法も見いだすこと。

思考・判断

・欲求やストレスとその対処について、習得した知識や技能を自他の生活と比較したり、活用したりして、心身の健康を保持増進する方法やストレスへの適切な対処の方法を選択すること。

思考・判断

・心身の機能の発達と心の健康について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合うこと。

表現

最後に



この機会に、再度御確認をお願いします。

終わり